令和2年度 下半期財政事情

市では、市民の皆さんに毎年2回財政状況を公表しています。今回は、令和2年度下半期（令和3年3月31日現在）の財政状況をお知らせします。

問い合わせ　財政課（内線415）

市民1人当たりの歳出額は、一般会計歳出額641億9,533万3千円を、3月31日現在の人口14万952人で割った金額です。

市民1人当たりの歳出額
45万5,441円

民生費
¥26万4,889円
児童、障害者、高齢者の福祉など

総務費
¥3万2,284円
事務管理費、税務、住民登録など

教育費
¥6万3,303円
学校教育、生涯学習など

土木費
¥3万1,447円
道路、公園の整備など

衛生費
¥2万925円
保健、健康、ごみ処理など

公債費
¥2万3,015円
市債（市の借金）の返済

消防費
¥1万507円
消防活動、救急活動など

その他
¥9,071円

令和2年度一般会計の概要

（歳入）

区分	収入済額	予算額に対する収入割合
市税	270億6,654万8千円	94.8%
国庫支出金	252億6,006万1千円	93.2%
繰入金	41億9,445万5千円	99.9%
繰越金	36億9,307万8千円	100.0%
地方消費税交付金等	34億7,968万5千円	104.4%
市債	30億　　40万　　円	59.7%
県支出金	25億5,822万　　円	70.4%
諸収入	18億1,311万8千円	85.1%
その他の歳入	16億1,826万3千円	94.4%
歳入合計	726億8,382万7千円	91.6%

（令和3年3月31日現在）

（歳出）

区分	支出済額	予算額に対する支出割合
民生費	373億3,666万4千円	88.9%
教育費	89億2,268万3千円	86.3%
総務費	45億5,052万　　円	55.9%
土木費	44億3,253万5千円	72.6%
公債費	32億4,396万　　円	99.8%
衛生費	29億4,943万1千円	78.5%
消防費	14億8,092万7千円	72.8%
その他の歳出	12億7,861万1千円	33.9%
歳出合計	641億9,533万3千円	80.9%

（令和3年3月31日現在）
※歳入および歳出の各区分の金額は、千円未満で四捨五入しているため、歳入合計および歳出合計と一致しません

用語解説

一般会計：地方公共団体の基本的・全般的な経費を経理する会計のこと。
特別会計：国民健康保険や市民医療センター事業など特定の事業のために、一般会計とは別に経理する会計のこと。

（歳入）
市税：市が市民に直接課税する税金のこと。市民税（個人・法人）、固定資産税、都市計画税、軽自動車税、たばこ税など。
国庫支出金：決められた目的に使うため、国から交付されるお金。
繰入金：他会計や基金からの現金収入。

（歳出）
民生費：住民の一定水準の生活と安定した社会生活を保障するのに必要な経費。社会福祉、身体障害者、高齢者、児童福祉、生活保護および災害救助関係など。
教育費：教育委員会費、小・中学校、社会教育、社会体育などの経費のこと。
総務費：全般的な管理、企画調整、財政・財務管理および地方公共団体の共通経費のこと。

令和2年度は、限られた財源を各事業へ有効に配分し、経費全般について削減を図りながら、計画的・効率的な予算執行に努めました。
また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、市民の生活の安全を守り、経済を下支えするため、経済雇用対策・生活支援対策・感染症予防対策を実施しました。
令和2年度決算は、確定次第、財政課のホームページや「広報 戸田市」などでお知らせします。

戸田市の財政案内人
「おさいふくん」

令和2年度会計別予算執行状況

区分		予算現額	収入割合	支出割合
一般会計		793億7,724万2千円	91.6%	80.9%
特別会計	国民健康保険	107億2,992万9千円	95.2%	93.9%
	市民医療センター	8億7,664万5千円	85.0%	82.7%
	交通災害共済事業	850万1千円	131.2%	62.0%
	海外留学奨学事業	952万3千円	59.2%	35.0%
	火災共済事業	278万3千円	85.3%	25.3%
	新曽第一土地区画整理事業	19億7,291万6千円	45.8%	39.5%
	介護保険	70億3,758万3千円	94.4%	88.9%
	新曽第二土地区画整理事業	19億3,291万3千円	58.7%	51.2%
	後期高齢者医療	12億5,926万1千円	92.5%	86.9%
	在宅介護支援事業	9,130万7千円	103.7%	88.5%
特別会計合計		239億2,136万1千円	87.5%	83.6%
合計		1,032億9,860万3千円	90.6%	81.5%

（令和3年3月31日現在）

市の財産

市有地
128万6,786.91㎡
（1人当たり9.13㎡）

建物
29万521.37㎡
（1人当たり2.06㎡）

基金等残高
177億8,556万5千円
（1人当たり12万6,182円）

市債の現在高

市債は、市民の皆さんが長期的に使用する公共施設などを整備するための資金で、一時的な財政負担にせず、国などから長期にわたり借り入れしたものです。

		令和元年度	令和2年度
一般会計		242億2,027万6千円	241億4,737万3千円
特別会計	市民医療センター	10億4,500万2千円	9億4,514万　　円
	新曽第一土地区画整理事業	7億5,635万　　円	6億4,645万2千円
	新曽第二土地区画整理事業	7億7,546万　　円	6億6,540万　　円

（令和元年度は年度末残高、令和2年度は令和3年3月31日現在値）

主な基金の現在高

基金は、特定の目的のために資金を積み立てたり、定額の資金を運用したりするために設置されるものです。

◎財産を維持し、資金を積み立てるために設置された基金

	令和元年度	令和2年度
財政調整基金	61億4,203万8千円	57億6,327万8千円
都市開発基金	11億4,606万　　円	13億2,783万2千円
公共施設等整備基金	62億5,812万5千円	57億4,864万9千円
環境対策基金	1億9,634万2千円	1億8,933万2千円
教育基金	1億9,927万5千円	1億9,837万　　円

（令和元年度は年度末残高、令和2年度は令和3年3月31日現在値）

◎定額の資金を運用するために設置された基金

	令和元年度	令和2年度
まちづくり土地開発基金	26億2,491万9千円	26億2,503万7千円

（令和元年度は年度末残高、令和2年度は令和3年3月31日現在値）

令和2年度下半期 上下水道事業会計財政事情

（令和3年3月31日現在）

上下水道事業は、皆さんからお支払いいただいた水道料金および下水道使用料をもとに、事業運営に必要な経費をまかなう「独立採算制」を原則に経営を行っています。

問い合わせ　総務課　229-4606

資産および借入金残高

項目	合計額
資産（現金・水道施設など）（水道事業）	192億3,561万6千円
借入金残高（企業債）（水道事業）	37億3,537万　　円
資産（現金・下水道施設など）（下水道事業）	228億4,725万　　円
借入金残高（企業債）（下水道事業）	92億3,942万2千円

収益的収入および支出

区分	執行額	執行率
収入（水道事業）	24億5,512万1千円	100.1%
支出（水道事業）	23億5,997万5千円	94.8%
収入（下水道事業）	25億3,315万8千円	92.9%
支出（下水道事業）	24億7,374万9千円	92.7%

資本的収入および支出

区分	執行額	執行率
収入（水道事業）	4億7,044万　　円	92.6%
支出（水道事業）	11億　600万6千円	75.0%
収入（下水道事業）	8億2,174万9千円	57.8%
支出（下水道事業）	14億2,811万1千円	68.1%

※資本的収支執行額の不足額は、水道料金および下水道使用料収入で生じた利益の積立金などで補てんされます